

様式3 地域教員希望枠入学生を対象とした「実践力養成プログラム」

卒業時まで
身につける
資質・能力

- 茨城県のエデュケーショントピクに対応するための知識・技能(コア科目を中心に)
- コース別の課題に対応するための専門的な知識及び教育現場の課題に即応できる実践的指導力(専門科目の演習・実習を中心に)

卒業後

専門性を活かしたキャリアパスの形成
継続支援(実践交流会の開催)

在学中

【専門科目】
地域課題に対応で
きる専門性の向上

実践力養成プログラム

【コア科目】
多様な子どもを
深く理解する

探究

実習

演習

選択

必修

入学前

入学前履修制度
中・高校生向け教職セミナーの開催

多様な子ども理解と高度な実践的指導力

コア科目から4単位程度
専門科目から8単位程度
修了時に「実践力養成プ
ログラム」認定証を交付

実践的指導力を身につける

3年次からコース別に
各自、探究活動を開始

3年次

卒業
研究

4年次

実践力養成プログラム
成果報告会

コア科目
地域教員希望枠
全学生対象

3年次

(必修)現代教育の実践課題
(茨城県教委との連携授業)

2年次

(選択)学校と不登校
(選択)多文化社会と日本語教育
(選択)障害児教育総論
(選択)学校安全と救命救急

1年次

(必修)特別な支援を必要とする
子どもの理解と支援

専門科目
小学校専門教科
教員養成コース

(専門教科に応じた実習)

学校インターンシップに参加
例:理科・英語・プログラミング
教育の授業支援/国際
交流インターンシップ

(専門教科を深める演習等)

・茨城大学グローバルコミュニ
ケーションプログラムから選択
・物理/化学/生物/地学
の全領域講義および実験
・情報システム概論 など

専門科目
学習・心理・発達
支援専門コース

(専門性を高める実習)

学校インターンシップに参加
例:校内教育支援センター等での
不登校児支援/特別支援学級
や日本語指導教室での学習支援

(専門性を深める演習等)

・教材開発演習(特別な支援を必
要とする子どもの教育)
・不登校児のケーススタディ
・茨城大学日本語教員養成
プログラムから数科目選択
・子ども関係といじめ など

「誰一人、取り残さない教育」を実現できる高い専門性を有する小学校教員の養成

【茨城県の教育課題】

- 不登校率の高さ(全国1位)
- 特別支援学級の在籍率の高さ(全国平均3.7%/茨城5.7%)
- 外国ルーツのある子どもの在籍数(全国10位)(R4年度)

【茨城県の小学校教員の不足】

- 2025年度小学校教員選考試験の倍率が1.93倍まで低下
- 教員を配置できてない「小学校 教師の不足率」が高い(全国7位) (R6年度)